

再 評 価 調 査 書

I 事業概要								
事業名	道路事業							
地区名	一般国道473号(和合拡幅)							
事業箇所	豊田市黒坂町～神殿町							
事業のあらまし	<p>一般国道473号は、愛知県蒲郡市から豊田市、新城市を經由し、静岡県に至る延長265kmの路線であり、新東名高速道路などと接続する三河山間部の重要な路線である。また、第二次緊急輸送道路として位置づけられ、防災上重要な路線でもある。</p> <p>当該事業区間は、線形が悪く、狭隘な区間で車両のすれ違いが困難であることから、円滑な交通の妨げとなっている。</p> <p>このため、自動車すれ違い困難区間における自動車の安全性・走行性向上及び緊急輸送道路ネットワークの強化を主な目的として、一般国道473号の現道拡幅を実施するものである。</p>							
事業目標	<p>【達成(主要)目標】</p> <p>「あいち社会資本整備方針2025 11の取組方針」より</p> <p>① 山間・離島対策の推進(山間地域の暮らしを支える交通ネットワークの強化)</p> <p>② 地震・津波対策の推進(緊急輸送道路ネットワークの強化)</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>							
計画変更の推移		事前評価時 (2006年度)	再評価時 (2011年度)	再評価時 (2回目) (2016年度)	再評価時 (3回目) (2021年度)	再評価時 (4回目) (2025年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2007年度 ～2010年度	2007年度 ～2022年度	2007年度 ～2025年度	2007年度 ～2025年度	2007年度 ～2030年度	用地交渉の長期化による延伸	
	事業費(億円)	11.3	11.8	14.8	14.8	14.8		
	経費内訳	工事費	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	
		用補費	0.8	0.8	2.3	2.3	2.3	
	その他	0	0.5	2.0	2.0	2.0		
	事業内容	現道拡幅 延長L=3.1km 幅員W=11.0m 2車線	現道拡幅 延長L=3.1km 幅員W=11.0m 2車線	現道拡幅 延長L=3.1km 幅員W=11.0m 2車線	現道拡幅 延長L=3.1km 幅員W=11.0m 2車線	現道拡幅 延長L=3.1km 幅員W=11.0m 2車線		
II 評価								
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業区間は、線形が悪く、狭隘な区間で車両のすれ違いが困難であることから、三河山間地域における円滑な交通の妨げとなっている。また、歩道も整備されておらず、歩行者の安全性の確保も課題となっている。 ・一般国道473号は第二次緊急輸送道路に位置づけられている。 <p>【再評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前評価時より大きな変動はなく、依然として線形が悪く狭隘な区間で車両のすれ違いが困難であり、歩道も整備していないことから、必要性は高い状況である。 <p>【再評価時(2回目の状況)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再評価時より大きな変動はなく、円滑な交通と歩行者の安全性が確保されていないことから、必要性は高い状況である。 						

②事業の進捗状況及び見込み		<p>【再評価時(3回目の状況)】</p> <p>(1) 山間・離島対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業区間は、依然として線形が悪く狭隘な区間で車両のすれ違いが困難であることから、必要性は高い状況である。 <p>(2) 地震・津波対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般国道 473 号は第二次緊急輸送道路に指定されており、災害時に安全・円滑に通行できる緊急輸送道路を確保する必要がある。 <p>【再評価時(4回目)の状況】</p> <p>① 山間・離島対策の推進(山間地域の暮らしを支える交通ネットワークの強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業区間は、依然として線形が悪く狭隘な区間で車両のすれ違いが困難であることから、必要性は高い状況である。 <p>② 地震・津波対策の推進(緊急輸送道路ネットワークの強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般国道 473 号は第二次緊急輸送道路に指定されており、災害時に安全・円滑に通行できる緊急輸送道路を確保する必要がある。 <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前評価時と現在の状況に変動要因はなく、引き続き整備の必要性がある。 																																																																																																														
	判定	<p>B</p> <p>A: 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B: 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C: 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>【理由】</p> <p>依然として、円滑な交通が確保されておらず、事業の必要性が高いため。</p>																																																																																																														
	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2007 ~2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工 種 区 分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="6">←————→</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td colspan="6">←————→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td colspan="6">←————→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費 (億円)</td> <td>前回計画</td> <td colspan="2">14.8</td> <td colspan="6"></td> <td>14.8</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>11.9</td> <td colspan="6"></td> <td></td> <td>11.9</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td>11.9</td> <td colspan="4">2.9</td> <td colspan="3"></td> <td>14.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>進捗率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0%</td> <td>3.1</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>14.8</td> <td>11.9</td> <td>80%</td> <td>14.8</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>10.5</td> <td>7.4</td> <td>70%</td> <td>10.1</td> <td>73%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>2.3</td> <td>1.9</td> <td>83%</td> <td>2.0</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>2.0</td> <td>2.6</td> <td>130%</td> <td>2.7</td> <td>96%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率(面積ベース)は、約91%</p>			2007 ~2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	合計	工 種 区 分	調査・設計	←————→								/	用地補償	←————→								工事	←————→								事業費 (億円)	前回計画	14.8								14.8	実績	11.9								11.9	今回計画	11.9	2.9							14.8		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】	延長(km)	0.0	0.0	0%	3.1	0%	事業費(億円)	14.8	11.9	80%	14.8	80%	工事費	10.5	7.4	70%	10.1	73%	用補費	2.3	1.9	83%	2.0	95%	その他	2.0	2.6	130%	2.7
		2007 ~2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	合計																																																																																																							
工 種 区 分	調査・設計	←————→								/																																																																																																						
	用地補償	←————→																																																																																																														
	工事	←————→																																																																																																														
事業費 (億円)	前回計画	14.8								14.8																																																																																																						
	実績	11.9								11.9																																																																																																						
	今回計画	11.9	2.9							14.8																																																																																																						
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																												
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】																																																																																																											
延長(km)	0.0	0.0	0%	3.1	0%																																																																																																											
事業費(億円)	14.8	11.9	80%	14.8	80%																																																																																																											
工事費	10.5	7.4	70%	10.1	73%																																																																																																											
用補費	2.3	1.9	83%	2.0	95%																																																																																																											
その他	2.0	2.6	130%	2.7	96%																																																																																																											

2) 未着手 又は長期化の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地権者から計画への理解が得られず、用地交渉が難航し不測の日時を要していることから、完了予定年度を2030年度まで延伸する。
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も多少の阻害要因は見込まれるが、地権者の計画への理解が深まっているため、用地買収に向け引き続き交渉を継続していく。 <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元全体は事業に協力的であるため、交渉を継続することで2030年までに完了する見込みである。
判定	<p>B</p> <p>A：事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○ これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>
	<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間を要すれば解決できるため。
Ⅲ 対応方針（案）	
継続	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。</p>
Ⅳ 再評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>道路拡幅による交通の円滑化状況、視距確保による交通安全性の向上状況。</p>	